

無縁坂

【作詞】さだまさし
【作曲】さだまさし

□□

母がまだ若い頃 僕の手をひいて

この坂を登る度 いつもため息をついた

ため息つけば それで済む

後だけは見ちゃだめと

笑ってた白い手は とてもやわらかだった

運がいいとか 悪いとか

人は時々 □にするけど

そういうことって確かにあると

あなたをみててそう思う

忍ぶ不忍 無縁坂 かみしめる様な

ささやかな僕の 母の人生

いつかしら僕よりも 母は小さくなった

知らぬまに 白い手は とても小さくなった

母はすべてを曆に刻んで

流して来たんだろう

悲しさや苦しさは きつとあったはずなのに

運がいいとか 悪いとか

人は時々 □にするけど

めぐる曆は季節の中で

漂い乍ら過ぎてゆく

忍ぶ不忍 無縁坂 かみしめる様な

ささやかな僕の 母の人生

無縁坂

【作詞】さだまさし
【作曲】さだまさし

1.
母がまだ若い頃
僕の手をひいて
この坂を登る度
いつもため息をついた
ため息つけば
それで済む
後(うしろ)だけは
見ちゃだめと
笑ってた白い手は
とてもやわらかだった

無縁坂

【作詞】さだまさし
【作曲】さだまさし

運がいいとかが 悪いとかが
人は時々口にするけど
そういうことって
確かにあると
あなたをみてて
そう思う

(1961)

忍ぶ不忍 無縁坂

かみしめる様な

ささやかな僕の

母の人生

無縁坂

【作詞】さだまさし
【作曲】さだまさし

3 / 4



2.

いつかしら僕よりも

母は小さくなつた

知らぬまに白い手は

とても小さくなつた

母はすべてを曆に刻んで

流して来たんだらう

悲しさや苦しさは

きつとあつたはずなのに

無縁坂

【作詞】さだまさし
【作曲】さだまさし

運がいいとが 悪いとが
人は時々 □にするけど
めぐる暦は
季節の中で
漂い乍ら
過ぎてゆく

(この16拍)

忍ぶ不忍 無縁坂

かみしめる様な

ささやかな僕の

母の人生